

事業報告

日本画三人展

2019.2/9～2/14

「日本画三人展」

2020年2月9日（火）～2月14日（日）

ギャラリーヒルゲート 1・2F

◆展覧会について

「体感の実体」をテーマに日本画作品を中心とした作品展を行いました。

各々が実際に経験・体感したことを絵画作品として実体化し、共有するという展示です。

私の作品には、滋賀県の自然の風景や取材時の記憶や印象が反映されることが多いです。今回は京都の展示ではありますが、より多くの方に知ってもらえる機会になると考えました。

申請期間には当てはまらなかったのですが、秋には滋賀県内での美術展に参加いたしました。

これらの経験を糧に今後も制作活動に励んで参りたいと思います。

◆作品について

・日本画の技法、描画材にて制作した平面作品を大小 20 点弱の作品を出品。

（三名で 60 点程度）

・過去琵琶湖周辺を取材したものや、余呉湖周辺を取材した作品、また取材時の記憶を心象的に表した作品を中心に展示。

技法…木製パネルに張り込んだ麻紙や絹に岩絵の具を膠で接着しながら描画

作品サイズ…大きいもので 100 号（130.3×162 cm）

他 50 号や 30 号、4 号などの小作品群

◆感染対策

マスク着用、常時換気、入口アルコール消毒設置など

◆展示作品及び展覧会風景



▲左から 100 号、4 号、WF6 号 (6 号二枚接合)

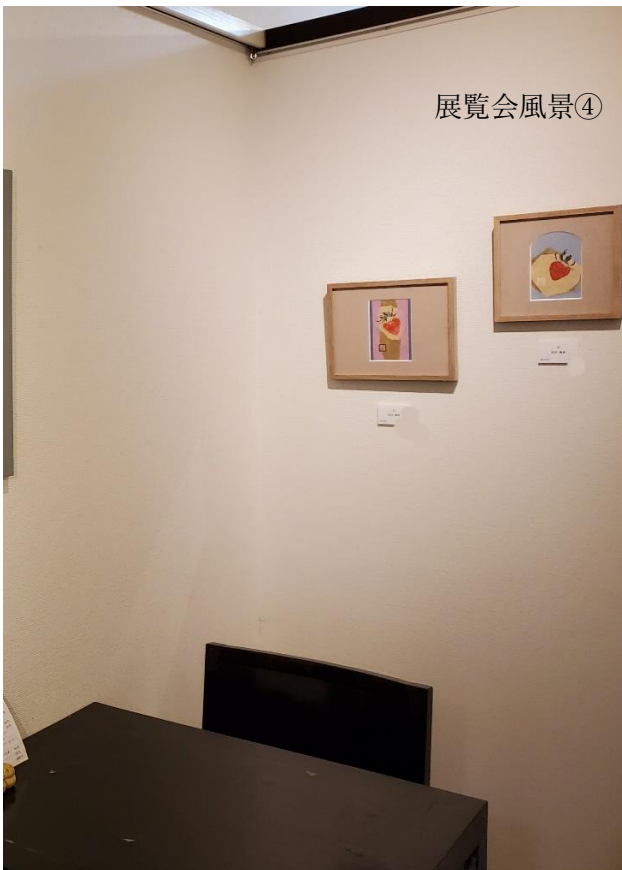
▼小作品、50号



展览会風景②



展覧会風景③



展覧会風景④



展覧会風景⑤

以上